

山中の恩忘れません

加賀市山中温泉の旅館「すゞや今日楼」が愛知県碧南市の鷲塚小と温かい交流を続けている。昨年9月に修学旅行でもてなした際、マスク関連グッズをプレゼントしたことを機にやり取りが続き、このほど当時6年生だった98人から感謝の色紙と写真が届いた。旅館のスタッフ一同は出会いと縁に感謝し「コロナ禍を乗り越える元気をもらった」と喜んでいる。

修学旅行が縁、交流続け

旅館に色紙3枚が届いたのは3月中旬だった。「中学校へ行ってもこの恩は絶対忘れません」「修学旅行の際、お世話してくれてありがとう」。びっしり書かれた子どもたちのメッセージにスタッフの笑顔があふれた。

修学旅行の際、旅館側は安心して石川県で楽しい思い出を刻んでほしいという思いから、おもてなしを考えていた。須谷晋也会長(74)は知人である石川樹脂工業(加賀市)の石川章会長兼社長に相談したところ、同社製の感染防止グ

ツズの無償提供の申し出があった。

マスクフレーム 100個を無償提供

児童にフェースシールド、教員にマスクフレームをそれぞれ贈り、旅行は無事に終わったが、交流は続いた。マスクの中に入れて呼吸しやすくするマスクフレームが教員の間で評判となり、須谷会長のもとに学校側から「卒業式に出る児童のため購入したい」と依頼があった。須谷会長は石川樹脂工業からマスクフレ

ーム100個を購入し、卒業祝いを兼ね宿泊のお礼として学校に贈った。

卒業式は3月19日に行われ、杉浦昌平教諭(36)は「おかげで感動の卒業式にするこ

とができた」と話した。

色紙と一緒に届いた集合写真には、マスクフレームを手に持った児童たちが写っている。須谷会長は「一生懸命に手紙を書いてくれた児童を思うと、宿を営んでいてよかったと感じる。コロナ禍の中、励みになる」と笑顔だった。

届いた色紙を眺める須谷会長
―加賀市山中温泉下合町

